

# 2020年度関西女子学生バスケットボール交流大会に向けた 「新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止） のためのガイドライン」

緊急連絡先； 関西女子学生バスケットボール連盟  
電話 06-6363-2015  
E-mail kwiba.baske@gmail.com  
携帯電話 080-8520-8126 学生委員長

## 新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）の対処方針

新型コロナウイルス感染拡大により、2020年度の事業計画のうち、全関西女子学生バスケットボール選手権大会、西日本学生バスケットボール選手権大会が中止となりました。関西女子学連では、関西女子学生バスケットボールリーグ戦を関西女子学生バスケットボール交流大会として、各チームの練習成果を表現する場として、日程は変更・短縮となりますが、関係者一同で感染予防・感染防止に努めつつ実施することとしております。

主催者である関西女子学生バスケットボール連盟としては、**学生の安心、安全を最優先**して大会を運営することとします。

交流大会を実施するにあたり、大会主催者として、「**新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）のためのガイドライン**」を制定することといたしました。

このガイドラインは、大学生の大会らしく、各チームの自覚と責任のもと、国・自治体、所属大学のルールを前提に、感染防止策を示すものです。例年と異なる制約条件となりますが、各チームとも協力して大会が無事実行できますよう、趣旨ご理解のうえ、遵守をお願いします。また、新しい生活様式に準じて、各自が新型コロナウイルス感染防止に努め、感染予防を意識し対応することを要請します。

2020年9月5日の判断としましては、リーグ戦としては開催せず、交流大会として、無観客により実施することとし、登録メンバーのみが体育館に入館できることとして開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や大会開催時に試合会場での感染が確認され、大会の継続が困難と判断した場合には直ちに大会開催を中断し、開催中止も審議いたします。

# 1. 参加するチーム、選手、大会関係者（役員・学生委員）が遵守すべき事項

## (1) 体調管理を徹底すること

- ・ 毎日自宅で体温測定を行い、記録すること
- ・ 軽度であっても発熱、咳、鼻水、咽頭痛、倦怠感等の症状がある者、体調不良者は練習や大会に参加しないこと

## (2) 衛生管理を徹底すること

- ・ 日常的にマスクを着用すること（練習や会場への移動時は必ず着用すること）
- ・ 咳エチケット、手洗い、手指消毒、うがいを実施すること

## (3) 室内環境の管理を徹底すること

- ・ 3密（密閉・密集・密接）を回避するように徹底すること
- ・ 室内換気（扉と窓の開放）を徹底すること
- ・ 対人距離は最低1m以上確保すること
- ・ Meetingを開催する場合は、密集、密接を回避する方策をとること
- ・ 施設使用後の使用備品（机・椅子・扉ノブ等）消毒を徹底すること

## (4) 試合中に関すること

- ・ 試合開始直前の審判員との握手を禁止とする
- ・ 各チームの選手・スタッフは試合時以外はマスクを着用すること
- ・ ハーフタイムのコートでのウォーミングアップ（次の試合のチーム）を禁止とする
- ・ ハイタッチ、密集した円陣、手をつないでのエールなど、三密を日常的に避けること

## (5) その他

- ・ 飲料の回し飲み、ボトルの共用は禁止とする
- ・ 体育館付設の冷水機、製氷機は使用しないこと
- ・ 熱中症対策やアイシング等の氷や飲み物等の準備は各チームの責任で行うこと
- ・ 更衣室の使用にあたっては、密集を避け交替で使用する（当該施設のルールに従うこと）
- ・ 施設内のエレベーターは、負傷者の移動及び物品搬入を除き使用しないこと
- ・ 施設内での食事は、禁止もしくは指定された場所に限定とする（試合前後の栄養補給のための補助食品は可）
- ・ ごみは持ち帰ること
- ・ 試合終了後の帰路に集団での会食を禁止とする。3名以上での会食は控えること（家族は除く）。

## 2. 大会のための大学施設（体育館）利用にあたって

---

### (1) 利用申し込みにあたって

- ・大学施設（体育館）利用にあたっては、本ガイドラインとともに、公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)「活動再開に向けたガイドライン」を示して、了解を得る。
- ・本ガイドラインとともに、利用する大学のルールを遵守し、感染防止対策を徹底する。

### (2) 会場での感染防止策について

- ・体育館入口にて検温（非接触型体温計）を行い、各自の平熱を超えている者、倦怠感など体調不良を自覚している者は入場させない。
- ・手指消毒を徹底する。消毒液は主催者（関西女子学連）にて準備する。
- ・チームから、大会参加同意書と毎試合、健康チェックシートの提出を求める。
- ・大会中の体育館内での除菌を1試合ごとに実施する（机・椅子の表面、ボール等）。
- ・試合時間の間隔を調整し、試合ごとに選手・チーム関係者が入れ替わるようにして可能な限り人と人との接触機会を低減させ、密集・密接を避ける。

### 3. 罹患者や濃厚接触者が生じた場合

#### (1) チーム内に罹患者や濃厚接触者が生じた場合

##### ①練習に参加している学生・スタッフが罹患した（陽性となった）場合

- ・罹患した者は原則としてPCR検査で陰性が確認されるまで出場停止（ただし、保健所が追加のPCR検査を実施しないと判断した場合には、保健所の自宅待機指示期間までの出場停止とする）
- ・同チームに所属する者は濃厚接触者とみなされる場合は2週間の出場停止。濃厚接触者とみなされない場合も2週間の健康観察を継続し、試合への参加は各チーム所属の大学のルールによる。

##### ②練習に参加している学生・スタッフが濃厚接触者とされた場合

- ・濃厚接触者とされた者は2週間の出場停止
- ・同チームに所属する者は濃厚接触者の濃厚接触とみなされ、2週間の健康観察を求め、試合への参加は各チーム所属の大学ルールによる。

##### ③罹患した学生の所属するチームと対戦した場合

- ・濃厚接触者とみなされる場合は2週間の出場停止。濃厚接触者とみなされない場合も2週間の健康観察を求め、試合への参加は各チーム所属の大学のルールによる。

##### ④学連委員、審判に関しては、JBAのガイドラインおよび選手・スタッフの対応に準じて判断する。

\*濃厚接触とは、マスクなど飛沫感染防止の策をとらずに15分以上1m程度の距離で対面（同席）した場合を想定する。

\*罹患者や濃厚接触者が発生した場合の対応について、所属大学が独自に設定しているルールがある場合には、所属大学設定ルールにしたがって対応する。

#### (2) 国・自治体、大学のルールとの関係

- ・本ガイドラインと国・自治体、大学のルールとを比較し、厳しい項目を適用する。

※試合終了後に感染の疑いが生じた際には、必ず主催者である関西女子学連に連絡すること

## 4. 大会中止の判断

---

大会開催の判断・中止判断は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策チームが審議し、理事会に意見具申し理事会で決定する。

対策チームは、感染予防対策・安全対策体制の構築のために、理事長を長とし、3名の副理事長（総務・競技・渉外担当）、5名の常任理事（総務副部長2名、競技副部長2名、財務部長）に学生委員を加えたメンバーとする。

交流大会開催直前並びに開催中に緊急事態宣言などが発出された場合には、交流大会開催の継続について、審議し判断する。